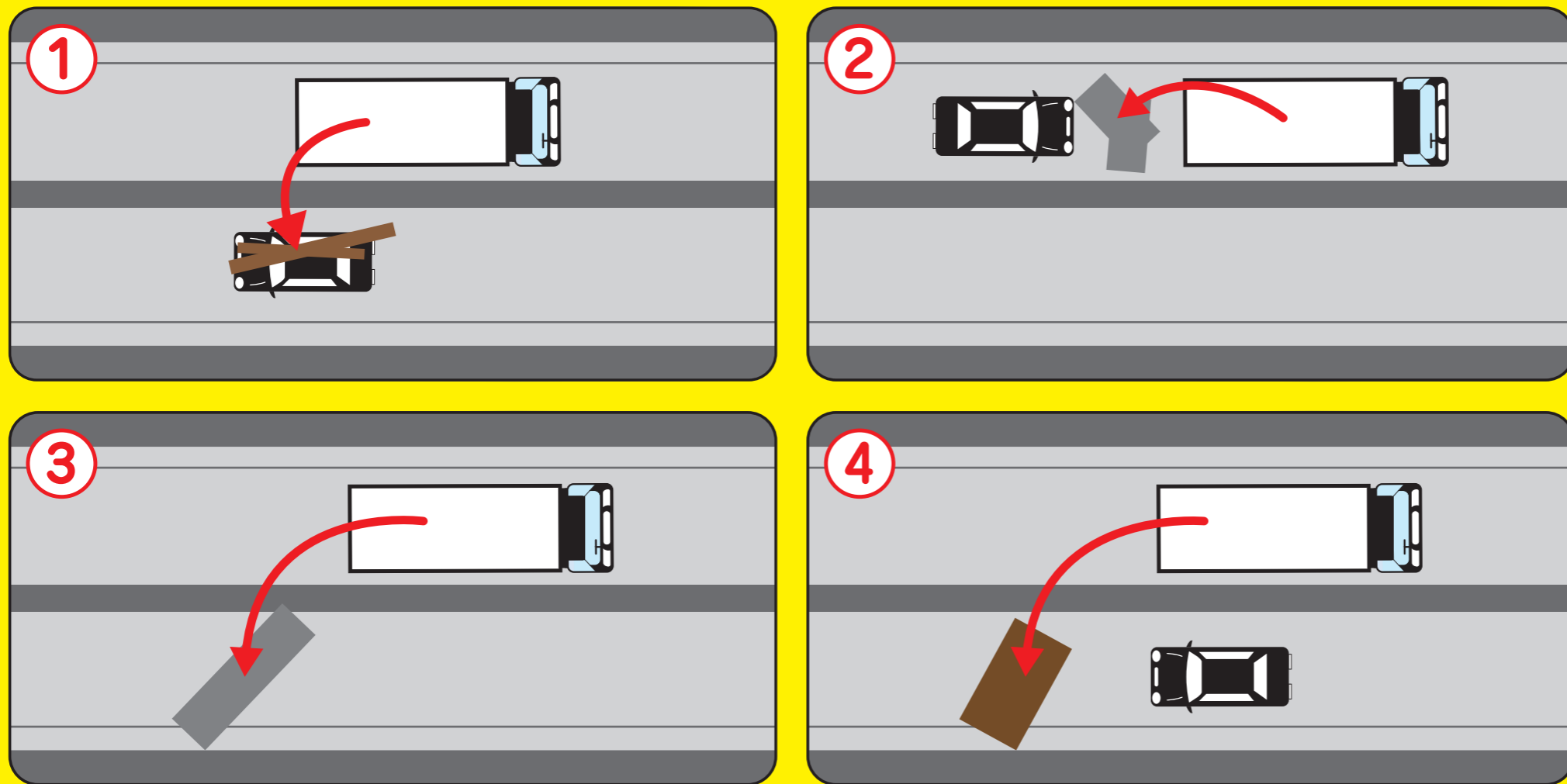


# 積載物が落下し事故・一歩間違うと大惨事



## どのような事故か…

- ①強風のため積載していた木材が、対向車線を走行中の車の屋根に落下
- ②荷台からプレートが落下し、後続車に衝突
- ③荷台から基礎固めのコンクリート柱が対向車線に落下
- ④積載していた木材が荷崩れして、対向車線に落下し、対向してきた車が乗りあげる  
上記事故は、一例にすぎません。  
荷崩れした積み荷が電柱に接触、積載物を荷役中突風が吹き隣に駐車中の車に接触……等様々な状況で事故が発生しています。

## この事故を防ぐためには…

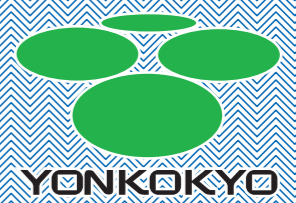
- ①積荷（重心）が偏らないようにバランス良く、積み付けしましょう。
- ②積荷の固縛を確実に実施しましょう。そのためには、固定に使用するワイヤーやロープ等の用具が損傷していないかの確認し、固定箇所を多めにとるようにします。砂利などの運送を行う場合はシートで覆いましょう。
- ③特に、強風時は、念入りにワイヤー、ロープ、シート等をかけましょう。
- ④出発前に再度、積荷の積載状況や、車両の最終点検を実施しましょう。
- ⑤長距離移動するときは、ワイヤーの緩みがないかなど、休憩場所での再確認を実施しましょう。

## 原因は…

落下事故での主原因は、『積み付けが不適切』『固縛が不十分』が考えられます。

### 《事故防止上の注意点》

- 「積荷が左右に偏っている」と、カーブや右左折で横転しやすくなります。「積荷が前に偏っている」と、下り坂でブレーキをかけたときに、制動力が不足して止まり切れなくなるおそれがあります。「積荷が後ろに偏っている」と、ハンドルが不安定になり、上り坂等で前部が浮くおそれがあります。
- 固縛が不十分であれば、運行中に荷崩れが生じます。荷崩れが生じれば大切な積荷が破損してしまいます。
- スピードを控えて制限速度を守り、急ハンドル・急ブレーキには注意しましょう。
- 過積載は「ブレーキの利きが悪くなる。」「カーブ等で急ハンドルを切ると横転・荷崩れとなりやすい。」「下り坂ではスピードが出やすくなる。」等事故に直結する状態となり危険です。法律でもドライバーの責任だけでなく、使用者責任や荷主責任が定められています。



# 事故事例ニュース

第308号

四国交通共済協同組合  
安全対策部  
坂出市番の州公園6番6号  
(安全対策部直通)  
0877-85-7992  
電話0877-44-4416(代)

プロとして！

安全な積み方縛り方を忘れない！